

能登半島地震における対応等について

石川県立医王特別支援学校

居村 恵子

目次

- ・ 本校の概要
- ・ 能登半島地震について
- ・ 発災時の本校の様子
- ・ 他校の様子
- ・ 今後の対応について

本校の概要

- ・ 金沢市にある石川県内唯一の病弱特別支援学校
 - ・ 独立行政法人国立病院機構医王病院に隣接
 - ・ 児童生徒数 12名（5月1日現在）
- 全員医王病院に入院し、ベッドサイドでの授業を行っている。（病棟訪問教育）



能登半島地震について

現在の状況

- ・ 幹線道路はかなり復旧している
- ・ 断水 ほぼ解消
- ・ 停電 ほぼ解消
- ・ 仮設住宅 予定数の70%完成(6/18 現在)
- ・ 避難者 約2400人(6/18 現在)

- ・ 復旧には、まだまだ時間がかかる

本校 発災当日～2日目

○当日18時ごろに教頭が学校に来る

- ・ 近くの高校の地盤が陥没し、道路が大渋滞
- ・ 事務室の扉が開かず、校内を大まかに確認する

○児童生徒の安否確認 1月2日9時頃

全員病院におり、無事が確認できた

○児童生徒の保護者の安否確認 1月5日終了

○教職員の安否確認

- ・ 1月1日17時頃開始（ライン、ショートメール）
～1月2日午後 全員の安否確認完了

○校舎等の被害 なし（エレベーターのみ止まる）

**3学期は予定通り
開始**

病院の様子

- ・ 入院患者には被害なし
- ・ 建物にも被害なし（一部使用できない通路があった）
- ・ エレベーターのみ緊急停止（震度4で止まる）

他校の様子

七尾特別支援学校珠洲分校



学校再開

⇒ 1月29日

【理由として】

★トイレの状況

- ・断水が解消されなかった
- ・校舎の安全確認
- ・スクールバスが運行できない道路状況
- ・給食が提供できない

建物の被災状況

⇒ 校舎が建っている地盤がそのまま陥没
校舎と渡り廊下など繋ぎ目がずれる
体育館、エレベーターは現在も使用不可

児童生徒の状況 ⇒ ・ 学校再開初日に、学校の周囲の様子を見て
次の日から来れなくなった児童がいた

今、思うこと ⇒ ・ R5.5.5とR6.1.1 どちらも休日に地震が起こったため、避難訓練が活かされたか、物品が足りたかは検証できず

・ 安否確認の連絡が重要 今回は迅速に実施できた

他校の様子

七尾特別支援学校輪島分校



学校再開

⇒2月1日（オンライン開始）2月5日始業式

【理由として】

★トイレの状況

- ・スクールバスの運行ができなかった
- ・校舎の状況 断水
- ・2月19日～3月 昼食は炊き出し

建物の被災状況

- ⇒
- ・体育館のガラスが割れる
 - ・トイレが使えない（簡易トイレ4台、災害用トイレを玄関前に設置）
 - ・水が出ないため、職員が近くの公民館まで水を汲みに行く状況が続いた

児童生徒の状況

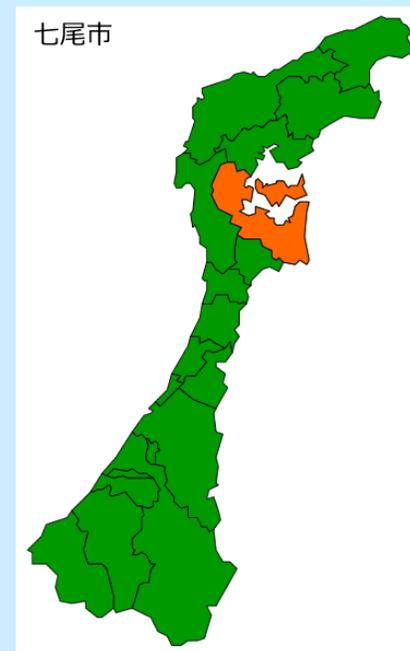
- ⇒
- ・ 1月10日に全員の安否確認終了
(教職員は1月4日に確認終了)
 - ・ 学校に登校できない児童生徒にオンラインで授業を行う

今、思うこと

- ⇒
- ・ 日頃から連絡ツールを活用した情報発信を行っておくべきだった。
 - ・ 災害後の景色がそのままである
(学校前の家が倒れたまま)
復興にはまだまだ時間がかかる

他校の様子

七尾特別支援学校 分教室



学校再開

⇒ 1月30日

【理由として】

病院の体制が整わなかった

建物の被災状況

⇒ 病院は、ひび割れ

4階教室、職員室は足の踏み場もない状況、元の状態に戻すのに2日要した。

児童生徒の状況 ⇒ 9日に各家庭に生徒たちの安否確認と状況把握を行った
家の被害はあったが、本人家族は無事
各家庭で様々。

今、思うこと ⇒ 全員無事で良かった。
病院での避難訓練、防災グッズ（椅子担架、ヘルメット）の必要性を感じ、すぐに準備した。

今後の対応について

○一斉メール等、複数の連絡手段を確保する

- ・既読が付く連絡ツール
- ・確認したいことを事前にグーグルフォーム等で作成
- ・複数の教員が発信できるように
- ・HP
- ・災害伝言ダイヤル

○非常用電源

- ・電源を必要とする医療機器類のための**非常用電源の確保**や緊急時の対応について、日ごろから検討しておくことが大切
- また、電源を確保できない場合の**応急的な対応**を習得しておくことも大切

[特総研HP「災害時における障害のある子どもへの支援」参考](#)

○備蓄品、予備薬の確認

○あらゆる場面を想定

- ・ 通常の授業時
- ・ ベッドサイドの授業時
- ・ 校外学習時
- ・ 休日
- ・ その他

○避難訓練の重要性

- ・ 病院の避難訓練の見学
- ・ 教員も参加させてもらう機会を作る

○災害時あんしんファイルの確認

『日常的に医療的なケアが必要な子どもは 大規模な災害時に停電や在宅医療機器の損壊、交通網の遮断等で、

- ・ 人工呼吸器や酸素濃縮器等の在宅医療機器が使用できなくなる
- ・ 薬や医療用具、経管栄養剤が足りなくなる
- ・ かかりつけの病院に行けない、かかりつけの病院が診療できない

などの事態が起こることが想定されます。

「災害時あんしんファイル」は、日常的に医療的ケアが必要な子どもとご家族が、停電や災害に備え、普段からの準備や災害時の対応手順、必要な医療処置の情報をまとめておくためのものです。』

石川県HPより

『災害時あんしんファイル』 チェックリスト

- お子さんの情報（氏名、生年月日、住所、写真など）
- 家族・関係者連絡リスト
- 災害あんしんマニュアル
- 医療情報連絡票
- 人工呼吸器と回路などの接続（写真を入れておくと便利）
- 人工呼吸器設定指示書
- 経管栄養注入指示書
- 処方箋
- その他の指示書
- （お持ちの方は、）災害時個別支援計画書

作成日	年 月 日	
更新日		
① 年 月 日	② 年 月 日	③ 年 月 日
④ 年 月 日	⑤ 年 月 日	⑥ 年 月 日

■ 医療情報連絡票

患者氏名			性別	男性・女性
生年月日	西暦	年 月 日生	年齢	歳
住所				
電話番号				
診断名				
合併症				
主治医	かかりつけ医	医療機関名		
		医師名	TEL	
その他		医療機関名		
		医師名	TEL	
今までの経過	発症:	年 月	人工呼吸器装着:	年 月
◎禁忌薬物				
◎アレルギー				
基礎情報 (平常の値を記入)	身長		体重	
	血圧		体温	
	脈拍		SpO2	
コミュニケーション	会話 筆談 文字盤 意思伝達装置 その他()			
	具体的に記載:			
医療処置情報				
人工呼吸器	機種名()			
	<input type="checkbox"/> 気管切開で使用(TPPV)		<input type="checkbox"/> マスクで使用(NPPV)	
	人工呼吸器装着時間: <input type="checkbox"/> 24時間 <input type="checkbox"/> 夜間のみ <input type="checkbox"/> その他()			
	【設定】人工呼吸器指示書参照 (※必ず最新の指示書をファイルしてください)			
酸素使用	<input type="checkbox"/> あり()L/分 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他()			
気管切開	カニューレ製品名() サイズ()			
	カフエア量()ml			
吸引	<input type="checkbox"/> 気管内 <input type="checkbox"/> 鼻腔内 <input type="checkbox"/> 口腔内 ※特記事項()			
	吸引回数			
栄養	<input type="checkbox"/> 経口			
	<input type="checkbox"/> 胃ろう・腸ろう		<input type="checkbox"/> 経鼻カテーテル	
	製品名() サイズ()			
	<input type="checkbox"/> その他()			
	摂取量	経管栄養指示簿参照(最新の指示簿をファイルしてください)		
	水分補給			
膀胱留置カテーテル				
移動	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 寝たきり <input type="checkbox"/> その他()			
その他特記事項				
記入日	年 月 日		(記入者)	

※ご家族で記入してください。不明な点は、かかりつけ医の医師、看護師などにきいてください。

○（福祉）避難所（石川県の場合）

- ・ 大規模災害の時は、学校に避難してもいいの？
- ・ 特別支援学校は福祉避難所になるの？

○つながりの大切さ

学校からの安否確認の連絡で、状況が把握できる



どこかにつながられる（医療、福祉、行政…）



困っている状況が改善できるかもしれない